

特許出願中



魔法の液肥



JASOM-230919

「土から変える。未来が育つ。」

メイホウ

バイオバランスECO



スクワレン

主成分



ロドバクター

効果

作物の生育促進と品質向上
環境ストレスの耐性の向上
高温障害・日照不足の軽減
土壌環境の改善

ロドバクターの特徴

- 光合成能力: 酸素を発生させない光合成を行い、嫌気的な土壌環境でも生育可能です。
- 窒素固定能力: 空気中の窒素を植物が利用できる形に変換し、化学肥料の代替や削減に貢献します。
- 植物の生育促進物質の生成: 植物ホルモン、ビタミン、アミノ酸などを生成し、根張りや生育を促進します。
- 土壌環境の改善: 有機物の分解を促進し、土壌の肥沃度を高め、有害ガスの分解や土壌病害の抑制にも寄与します。
- 5-アミノレブリン酸 (5-ALA) の生合成: 植物の光合成能力を高める重要な物質である5-ALAを生成し、作物の品質向上や収量増加に繋がります。

具体的な効果

- 作物生育の促進と収量向上: 窒素固定や生育促進物質の供給により、果菜類・根菜類・葉菜類・穀物類・花き類・芝生等で効果が報告されています。
- 品質向上: 色つやの向上、ビタミン類の増加、日持ちの改善など、作物の品質を高めます。
- 土壌病害の予防・軽減: 土壌中の有害菌の増殖を抑え、病害の発生を抑制します。
- 化学肥料の削減: 窒素固定能力により、化学肥料の使用量を減らすことが可能です。
- 連作障害の緩和: 土壌環境を改善し、連作による生育不良を緩和します。
- 耐塩性の向上: 塩害を受けた土壌でも、作物の生育改善が報告されています。

「スクワレン (Squalene)」は天然の炭化水素「サメの肝油」で、近年農業分野での潜在的な可能性も注目されています。

スクワレンの可能性

- 植物のストレス耐性向上: 植物体内でも生合成され、細胞膜の構成成分やステロイドホルモンの前駆体として重要です。乾燥や温度ストレス、病害虫への抵抗力向上に寄与する可能性があります。
- 植物の成長促進: 光合成経路に関わる物質の前駆体となるため、光合成効率を高め、作物の生育促進や収量増加に繋がる可能性があります。また、根系の発達促進も期待されます。
- 抗酸化作用と品質向上: 強力な抗酸化作用により、収穫後の作物の鮮度維持や日持ちの改善、栄養価の向上に貢献する可能性があります。
- スクワレンの誘導体が真菌などの病原体に対する殺菌作用を持つ可能性が示唆されております。
- 化学合成物質への依存度を減らし、環境負荷の低い農業の実現に貢献する可能性があります。

使用方法

土壌に使用する際は300倍希釈反当100L散布することで土壌の耐性菌等リセットします。葉面散布の場合500~1000倍希釈で反当200L散布することで光合成の効果を上げます。

苗に300倍希釈液を散布し定植することで根張りが良くなります。

他の肥料や農薬との混用での使用も可能。(殺菌剤は控えてください)

※メイホウバイオバランスeColaは“ノンケミカル”な資材で精製をし作り上げた物質で有機JASを取得した液肥です。

国立大学と共同研究を行っており、特許出願中の液肥です。

原材料からみるバイオバランスecoの効果



海藻エキス

- ホルモン様物質
- 有機結合ミネラル
- ファイトアレキシン

健全育成・強い体質を作る・光合成能力向上
不良環境対応力向上他



魚介ミネラル

- アミノ酸
- アンセリン
- ジペプチド

病害抵抗性向上・病害虫や気候変動による
被害を防ぐ・農作物の収量や品質の向上他



さつまいもエキス

- アミノ酸
- ビタミン

低温時や日照不足でも安定した肥効を発揮
作物の品質、食味の向上他



紅色細菌

- 各種アミノ酸
- 核酸 (ウラシル・シトシン)
- 色素 (リコペン)
- ビタミン各種
- 土壌有益菌増殖
- 土壌の団粒化促進
- 増殖

うまみ・品質・栄養価向上・貯蔵性向上
肥沃化・保肥力向上・地温上昇・日照不足補填



for Plant Agriculture

メイホウ MeiHou バイオバランスECO



強く 大きく育ちます。

～好評発売中～



希釈タイプ

18ℓ
30,000円

1ℓ×6本
18,000円



ドローン用

18ℓ

価格は税別

メイホウ
MeiHou

バイオバランスECOとは？

有機農産物の生産に使用される資材に認定されている商品です。
また、鹿児島県の特種肥料で認可を受けています。

有機JAS資材評価協議会 JASOM-230919
鹿児島県特種肥料 鹿児島肥生第221号



微生物の働き

微生物から生成された
物質による働き



①光合成菌群の静菌作用と放線菌の
抗菌作用で良好な土壌の根圏微生物群
を作り出す。

②微生物群の作用により土壌を団粒化
させ排水性、通気性、保水性の三相分布
のバランスのとれた土壌になり、保肥性
に優れた土になることが考えられます。

製造工程の中でレナード効果を応用した
製造装置により弊社が選抜した特別な
光合成細菌を含む有用微生物群の作用
により自然由来の原材料が代謝分解され
2つの生物活性物質が生成されます。

- ①植物・土壌微生物の好む
善玉コレステロール様物質
- ②土壌の微生物を活性化させる物質

商品の特長

01.

有機JAS使用可能資材

03.

土壌環境の改善

05.

収量・品質の向上

02.

成長促進

04.

発根促進

06.

化学物質 完全無添加

使用方法



希釈タイプ

葉面散布500～1000倍

土壌散布100～500倍

散布量の目安 (反当/100リットル)

ドローン用



葉面・土壌散布 希釈無し

散布量の目安 (反当/1,600ミリリットル)

メイホウ
MeiHou バイオバランスECO
お茶編 ～施用方法～



有機JAS使用可能資材

収量・品質の向上

成長促進

化学物質 完全無添加

土壌環境の改善

発根促進

取扱い販売店：南国殖産株式会社



18ℓ
¥30,000



1ℓ×6本
¥18,000
ばら売り時 送料別途

(価格は税別です。)

MeiHou^{メイホウ} バイオバランスECO
有機JAS登録可能資材 JASOM-230919

お茶 ~施用時期、施用倍率~

成木園での液肥の活用

☑ 一番茶前（～2葉期ごろまで）

◎バイオバランスECOを500～1000倍希釈を1反当300Lほど散布。

☑ 夏肥（5月中旬・6月下旬施用）

◎一番茶の摘採から二番茶の摘採まで45日程度の期間であるため、一番茶を摘み取ったあと直ぐにバイオバランスECOを500～1000倍希釈を1反当300Lほど散布。

◎また二番茶を摘採しない茶園でも、一番茶で消耗した樹勢を回復させることができ、少雨時の干ばつ防止効果があります。

定植直後～幼木園での上手な使い方

☑ 幼木園では、土壌が乾燥すると肥料に含まれていた塩類が水の蒸発と共に植穴に集まり、濃度障害（肥料ヤケ）を起こす恐れがあります。

➡ バイオバランスECOを活用することで、適切な濃度で施用できるので、健全な幼木の生育を促します。

☑ また幼木園では根の活着やその後の生育を充実させるため、かん水が必要です。幼木は根量が少なく水分を吸収する力が弱いので、土壌中に適度な水分がある状態を保つ必要があります。

➡ かん水を兼ねて、バイオバランスECOを300～500倍希釈を散布。

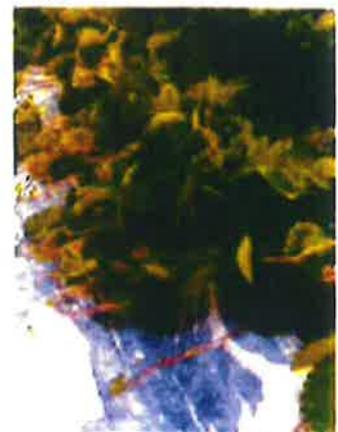
※ 少なくとも1カ月に1回は散布してください。



2024年1月25日 (ハウス)



2024年5月31日 (露地)



バイオバランスeco使用方法（いちご編）

露地・ハウス共に土壌は300倍希釈反当200L散布
散布後はロータリーをかける。

葉面散布は500倍希釈で散布。2週間から1ヵ月に
1回散布。

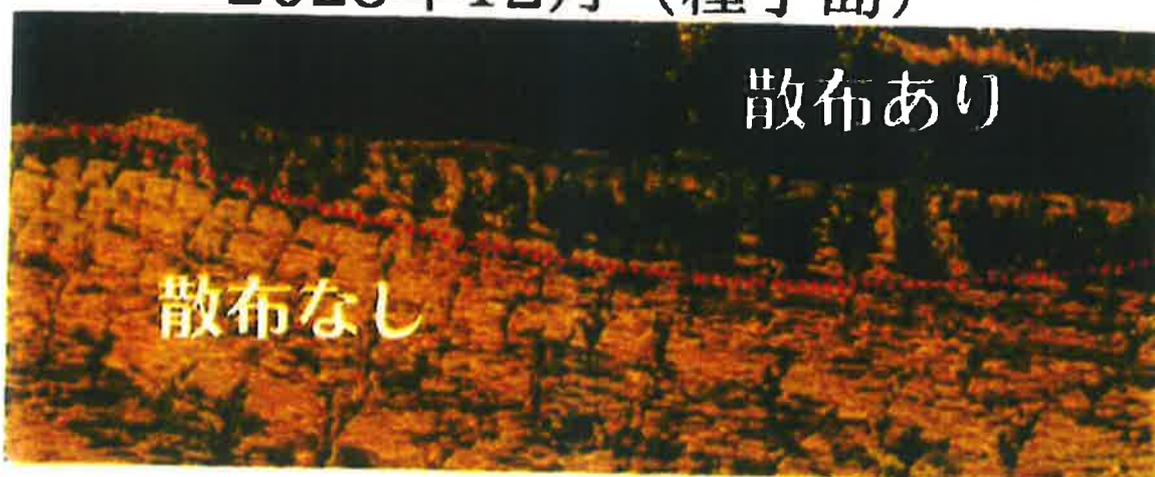
殺虫剤と併用は可。殺菌剤とは不可。

ニームバイオバランス使用方法

葉面散布は1000～2000倍で希釈。虫が発生する
前に散布。花が咲き交配をする時期には散布不可



2023年12月 (種子島)



同日植付 10カ月後





2024年4月12日 (熊本県)



2024年5月14日 (1ヵ月)





ニームバランスECO

for Plant Agriculture



強く大きく育ちます。

～商品名～

ニームバランスECO

～有効期限～

開封後24ヶ月

～使用方法～

葉面散布 1000倍～2000倍

土壌散布 500倍～1000倍

～主要な成分の含有量等～

窒素全量 0.5%未満

りん酸全量 0.5%未満

加里全量 0.5%未満

炭素全量 ー

～商品一覧～

500ml



4,400円 (税込)

5 L



31,900円 (税込)

～販売店～

MeiHou 明宝技研株式会社

〒891-0123

鹿児島県鹿児島市卸本町5-27

TEL 099-298-5037

MeiHou

オーガニック エコバランスα

耐アルカリ性光合成細菌 A.P.S.B Alkali Resistance Photosynthetic Bacteria

自然の恵みで強くなる

～商品の特徴～

【米作専用】

- ① 土壌環境の改善
- ② 収量・品質の向上
- ③ 成長促進
- ④ 化学物質 完全無添加



18L ¥10,000 税別

MeiHou 明宝技研株式会社

〒891-0123 鹿児島県鹿児島市卸本町5-27
TEL 099-298-5037

～使用方法～

育種時

【種籾を浸漬処理する場合】

オガニック エコバランスαを300倍に希釈し、24時間漬けてください。

【田植時に苗箱処理する場合】

オガニック エコバランスα300倍に希釈し、苗に均一に散布してください。

湛水土壌

田植え1週間後 水深1～2cmまで落水した状態で水尻を止め、

オガニック エコバランスαを反当2Lを水口から流し込んでください。

その後、水深10cmくらいまで入水し、数日間は落水しないでください。

気温が急激に上がり、すき込まれた未分解有機物が分解をはじめて

ガスわきが発生している場合は効果抜群です。

出穂30～40日前(幼穂形成期) 水深1～2cmまで落水した状態で

水尻を止め、オガニック エコバランスαを反当2Lを水口から流し込んでください。

その後、水深10cmくらいまで入水し、数日間は落水しないでください。

この時期に投入することで千粒重を高め、食味も向上させます。

蓮田

蓮田には反当4Lを投与します。

春の定植後に投与: 気温が上昇する際のガス湧きを抑制します。

春の定植後に投与: すき込んだ残渣を分解します。

堆肥を投入した圃場では、フザリウム、ピシウムなどの病原菌密度を

下げるためにオガニック エコバランスαは効果的です。

『土から変える。未来が育つ。』

メイホウバイオバランスECO入り

有機JAS登録可能資材JASOM-230919

Meihou

ECOの力

～EMO～ 牛糞堆肥

【散布目安】

畑・田んぼ……1反(10a)に25～30袋を植付の2～3週間前に散布してください。

花壇・菜園……1㎡に1袋程度を植付の2～3週間前に散布してください。

プランター……容器内に入っている用土に20%程度を混ぜてご使用ください。

使用上の注意

警告○このポリ袋は、幼児や子供の手の届くところには置かないでください。
○頭からかぶったりした時に、口や鼻をふさぎ窒息する恐れがあります。

注意○植物育成以外には使用しないでください。
○長期保管しておきますと、コケやカビが発生することがありますが品質には影響ありません。

40L

【製造充填時】

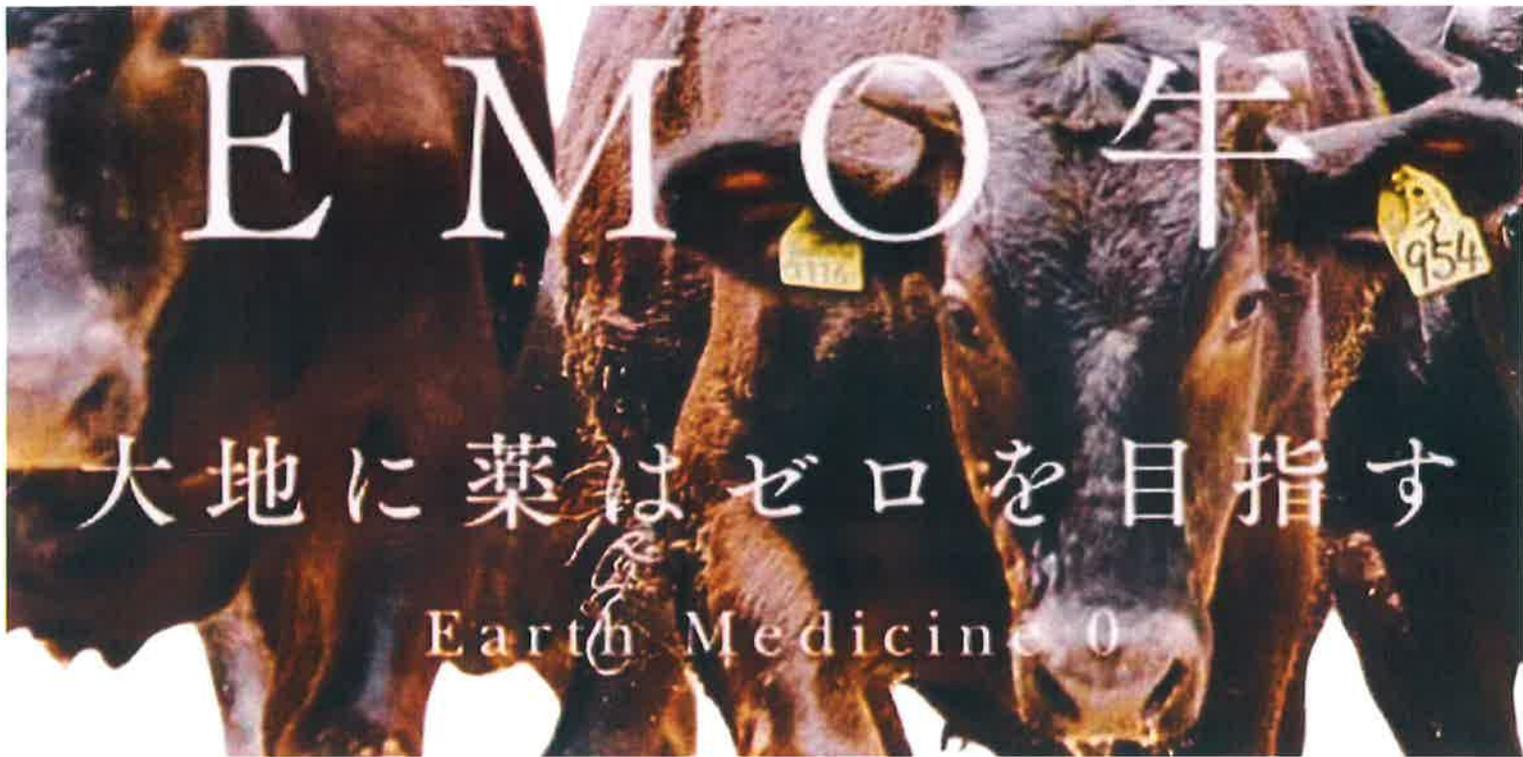
製造元 *MeiHou* 明宝技研株式会社



肥料の品質の確保等に関する法律に基づく表示

肥料の名称 堆肥の種類 Meihou ECOの力～EMO～
類 届出をした都道府県 堆肥
県 宮崎県
表示者の氏名又は名称及び住所 明宝技研株式会社
鹿児島県鹿児島市卸本町5-27
正味重量 生産した月 40L
日 原料 別途記載
主要な成分の含有量等 紅色細菌群、土壌菌、大鋸屑、
牛糞、有機物（澱粉粕）

窒素全量 2.25%
りん酸全量 3.34%
加里全量 3.81%
炭素窒素 9.7%



土壌の物理性改善（団粒構造の促進）

- * 牛糞堆肥に含まれる豊富な有機物が微生物によってゆっくりと分解され、土がフカフカになり、土の粒子が集合して「団粒構造」を形成し通気性、保水性、排水性が向上します。根が張りやすくなり、作物の生育が促進されます。

土壌の生物性改善（微生物の活性化）

- * 牛糞堆肥は土壌中の微生物や土壌生物にとっての栄養源となります。
- * 微生物が活発に活動することで、土壌の多様な生態系が生まれ、病原菌の増殖を抑え、有機物の分解を促進します。
- * 土壌病害（連作障害など）の発生を抑制する効果が期待できます。

土壌の化学性改善（保肥力・地力の向上）

- * 牛糞堆肥には、窒素、リン酸、カリウムといった植物の生育に必要な主要栄養素に加え、鉄、銅、亜鉛などの微量元素も含まれています。
- * これらの養分は緩効性で、ゆっくりと土壌に供給されるため、長期間にわたって肥効が持続します。
- * 腐植に似た物質が含まれることで、土壌の保肥力（肥料成分を蓄える力）が高まります。
- * 土壌のpHに対する緩衝能も向上し、土壌が酸性やアルカリ性に極端に傾くのを防ぎます。

肥料効果

- * 土壌改良材としてのイメージが強いですが、もちろん肥料成分も含んでいるため、植物の生育を支える肥料としても機能します。
- * 特に、窒素の含有率は鶏糞や豚糞に比べて控えめですが、カリウムが比較的多く含まれる傾向があります。
- * 緩効性なので、即効性のある化学肥料と組み合わせて使用することで、初期生育を補い、長期的な養分供給を確保することができます。

環境負荷の軽減

- * 牛の排泄物を有効活用することで、廃棄物削減と資源循環に貢献します。
- * 化学肥料や農薬の使用量を減らすことにつながり、環境に優しい農業の実践を助けます。

※注意点

- * 即効性はない: 化学肥料のような即効性は期待できないため、長期的な土壌改良を目指して継続的に施用することが効果的です。